

平成31年2月15日
日本学術会議事務局

— サイエンス 20 (S20) Japan 2019 —

1. 概要

S20 は、G20 サミットに対して共同で科学的な提言を行うことを目的とする、G20 各国の科学アカデミーによる会議であり、今年で3回目の開催となる。

2019 年は日本で G20 サミットが開催されることに伴い、日本学術会議が議長アカデミーとして S20 を主催。近年の課題である海洋プラスチックごみへの対処を中心とする共同声明をとりまとめる予定であり、それを G20 サミット議長である安倍総理に対して提言する。

2. 日時・会場 平成31年3月6日(水)

9:30~13:30: 基調講演及びパネルディスカッション (取材可)

15:00~18:00: 共同声明採択

日本学術会議 講堂 他

一般参加申し込み先 https://omc-mice.net/s20japan2019/register/for_others/index.php

3. 参加予定アカデミー (G20 各国の科学アカデミー等)

日本学術会議 (主催)、フランス科学アカデミー、全米科学アカデミー、英国王立協会、ドイツ科学アカデミー・レオポルディーナ、リンチェイ国立アカデミー (イタリア)、カナダ王立協会、欧州委員会 (オブザーバー参加)、アルゼンチン精密物理自然科学国家アカデミー、オーストラリア科学アカデミー、ブラジル科学アカデミー、中国科学院、インド国家科学アカデミー、インドネシア科学アカデミー、メキシコ科学アカデミー、大韓民国科学技術アカデミー、ロシア科学アカデミー、キングアブドゥルアジズ科学技術都市 (サウジアラビア)、南アフリカ科学アカデミー、トルコ科学アカデミー

4. 共同声明テーマ

「海洋生態系への脅威と海洋環境の保全 ー特に気候変動及び海洋プラスチックごみについてー」

(概要)

汚染のない海洋環境は人間社会の持続可能な開発に必要な不可欠である。しかしながら、現在、その海洋生態系は深刻な脅威に直面している。具体的には、海洋の温暖化、海洋酸性化、貧酸素化であり、これらは地球的規模で進行している課題である。さらに、海洋の富栄養化、汚染、海洋プラスチックごみの集積も海洋生態系へ影響を与えている。

これらの影響を最小限に抑えるため、G20 の科学アカデミーは以下を提言する。

- (1) 海洋資源の今後の開発に際して、専門家による科学的根拠に基づく助言の必要性
- (2) 海洋生態系へのストレス要因の軽減を目的とした行動の増強
- (3) 科学的根拠に基づく目標設定とそのフォローアップ、及びステークホルダー連携を通じた都市や地域レベルでの循環経済・社会の実現
- (4) 研究船、観測・監視技術等の調査・研究基盤の能力強化
- (5) 世界中の科学者がアクセス可能な、データ保管装置と管理システムの確立
- (6) 強固な国際協力の下で推進される海洋の調査・研究活動の実施と、それにより得られる情報の共有化